

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定NPO法人 水のフォーラム

27A-04

代表者：理事長 藤原 悌子

URL : [https:// w-forum.jp](https://w-forum.jp) [https:// kululu.w-forum.jp](https://kululu.w-forum.jp)

1. 活動が必要とされた状況

耕作放棄地の保全活動は徐々に面積が広くなり、大型農機が不可欠な状況にありますが、とくに最近では稲束をハサカケ(天日干し)する農家がいなくなり、刈取りと稲束結束ができる「バインダー」は、県内はもとより全国的にも見つけることが困難になってきました。

その中で、川島町の農機屋さんが中古の「バインダー」を千葉県で見つけ、さらに、使用可能なものに修理していただきましたので、ハサカケ継続のため、購入費のご助成をお願いしました。

2. 活動の内容(実施時期、参加人数、活動内容など)

〈実施時期〉10月12日～20日(主に土日と休日)

〈参加人数〉稲刈り、ハサカケ期間の参加者、延べ約70名(子供含む)

〈活動内容〉バインダーで稲刈と結束→竹で稲干し台作成→ハサカケ



バインダーで稲を刈り、稲束結束。バインダーがないと、手刈りのみならず結束が大変!



冬場(霜が降りる前)に伐っておいた竹でハサを掛ける稲干し台作り



ハサカケが並ぶ光景は、今や「見沼田んぼ」晩秋の風物詩に

3. 活動の成果

農機がスムーズに動いてくれると、作業もスムーズに進みます。コロナ禍で一時参加者が減りましたが、それでも恒例のハサカケを続けることができました。

4. 今後に残された課題

「見沼田んぼ」での無肥料・無農薬の循環型伝統農法による保全活動も四半世紀になり、この活動を次代にどうつなげるか、後継者を育てながら思案しています。

活動を支えるために不可欠なのが大型農機ですが、これまで廃棄物同然の格安農機を購入してきたため、部品の劣化が甚だしく、作業中に何度も修理を依頼せねばならない状態です。

中古農機でも、もう少しましなものを購入すべきとのアドバイスもあり、次の担い手がいずれもう少し楽に進めることができるよう(ほかにも問題が多々あるため)、一つずつ農機を充実させたいと考えています。